



みんなで協力し、最高の思い出をつくれた修学旅行

6月27日（木）～28日（金）、6年生が修学旅行に行ってきました。初日は、「いのちをつなぐ未来館」（釜石市）での震災学習、そして平泉に移動し、毛越寺・中尊寺を見学し歴史学習を行いました。熱心にメモを取ったり、ガイドの方に自分から質問をしたりするなど主体的な学びの姿がみられました。また、毛越寺では、座禅体験も行い、身体と呼吸と心を整える時間を過ごしました。日常的にさまざまな音に囲まれ、常に何かを考えながら過ごしていることの多い私たちにとって、何も考えずに静かに座っている時間はとても貴重なものでした。

宿泊先の「渡り温泉ホテルさつき」では、豪華な食事に広い温泉、部屋ごとに親睦を深めながらのんびりした時間を過ごしました。

2日目は、盛岡市へ移動し、午前中は班ごとに自主研修を行いました。こども科学館や県立美術館、歴史文化館や盛岡八幡宮など駅周辺の施設を見学先に選び、自分たちで決めた移動方法で、見学先に向かいました。バス停の場所を見つけられなかったり、バスを降りてからの見学先までの順路に戸惑ったりして、なかなか計画通りには進まなかったところもあったようですが、すべての班が決められた時刻までに集合場所に戻ってくることができました。午後は、お楽しみの岩山パークランド。子どもたちは、疲れも感じさせず、時間いっぱい、笑顔で活動していました。

修学旅行で、子どもたちは、たくさんの貴重な体験をすることができました。そして、仲間と協力して行動する姿、見学先でのマナーや挨拶、話の聞き方など、これまでの学習の成果を随所に見ることができました。6年生の今後の成長にも期待しています。



いのちをつなぐ未来館(釜石市)



座禅体験(平泉町)



毛越寺(平泉町)



渡り温泉ホテルさつき(花巻市)



自主研修(盛岡市)



岩山パークランド(盛岡市)

PEP TALK! で、笑顔あふれる学校に ①

昨年度に引き続き、今年度も学校スローガンに PEPTALK を掲げています。

「PEPTALKとは？」

日本ペップ TALK 普及協会では、ペップトークを

- ①ポジティブ語で(ポジティブな言葉で)
- ②相手の状況を受け止め(置かれている立場や心情も含め)
- ③ゴールに向かった
- ④短く分かりやすく
- ⑤人をその気にさせる
- ⑥言葉かけ

と、定義しています。

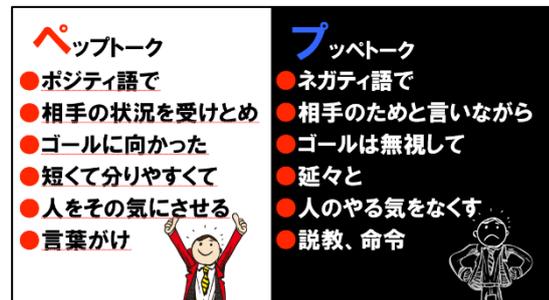
本校では、子どもたちに『相手のことを考えた言葉かけ』と伝え、生活の中で自分が発する言葉に対する意識を高めています。

今年の2月には、児童・教職員・保護者が一体となり、学校として PEPTALK に心がけていることを評価され、日本ペップトーク普及協会認定の「ペップトーク実践モデル校」に選ばれました。

子どもたちにも折に触れ、PEPTALK の大切さを話している他、今年度も教職員向けの研修や家庭教育学級(11月)での保護者の皆様への紹介も予定しています。

さらに、7月には、児童会執行部が、『ハピネズミ(本校独自のペップトークキャラクター)を可愛く進化させよう』というペップトークを広げる取組を企画し、各学級で取り組みました。

岩泉小学校の文化として、子どもたちの中にも根付きつつあることを嬉しく思っています。



ハピネズミ(5年 藤原栄美さん作)



児童会執行部の取組

2年生活科「まちたんけんに行こう」

6月25日(火)2年生が生活科の学習で町探検に行ってきました。今年度は、岩泉高校、うれいらオープン、岩泉警察署、ぐうぐう、岩泉消防署、ツルハドラッグ、志たあめやの各施設の皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。



岩泉警察署



ぐうぐう



岩泉消防署